

# 働き方改革プロジェクト

本業に集中できるシステムに

2019.07.16

No.74

校長 渡邊 幸二

今年度、浜田小学校で取り組んでいく働き方改革の方向性を、遅ればせながらつくってみました。ご意見・感想などの反応があると嬉しいです。

ミッション		<b>本業集中</b> ～日々の授業の充実のために(授業ファースト)	
目標	① 県プロジェクトチームによる「働き方改革の取組み手引き」を参考に実践を進める。 ② 出退勤表による時間外	・50時間/月 以上の職員を50%以内に ・職員の平均を40時間/月以内に	
ターゲット		プロジェクトの方向性	
A	地域行事・地域活動 (座禅会、甚句流し、ラジオ体操等) * 公益・貢献活動(灯籠まつりなど)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 休日にあるものは、平日開催をお願いする。</li> <li>・ 平日開催の場合は参加を考慮するが、できる限り地域でできるものは地域にお任せする。</li> <li>・ 地域・人材等を知る上で重要なものについては、希望制・輪番制などで対応する。</li> <li>* 公益・貢献活動については、できる限り実施日後すぐに代替休を設けるなどして対応する。</li> </ul>	
	地域の会議・懇談会・懇親会等 (体育振興会・教育振興会・同窓会等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 休日にあるものは、平日開催をお願いする。</li> <li>・ できる限り地域でできるものは地域にお任せする。どうしても出席の必要があると認められる場合は管理職(担当者)が出席する。</li> </ul>	
B	体育大会 (小体連、市水泳大会、市民体育祭)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小体連の大会については、できる限り実施日後すぐに代替休を設けるなどして対応する。市の大会については管理職・担当者を中心に対応する。</li> </ul>	
C	PTA懇談会・懇親会等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 何が減らせるか理事会で検討してもらおう。地区子ども会についても、教員は原則参加しない方向ではどうか。どうしてもという地区には管理職が対応する。</li> <li>・ 懇親会については、今後、休日は開催しないように、9月の理事会で働きかける。回数についても前例ありきではなく、必要最低限にする方向でお願いすると共に、費用負担についても考えてもらおう。父会・母会については開催しない方向でお願いしていく。</li> <li>・ 懇談会については、前例ありきではなく、必要なときにタイムリーに開催する方向でお願いする。(特に生徒指導上の問題発生時など)</li> <li>・ 歓送迎会はPTA幹事で対応してもらおう。</li> </ul>	
	PTAレク・研修会等(自転車教室など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ レクレーション等の学年活動は、前例ありきではなく、ねらいや費用負担などを十分に考慮し、必要最低限にする方向でお願いする。</li> <li>・ 教員の参加の必要性があれば対応する形を原則にできるように、9月の理事会で働きかける。</li> </ul>	
	PTA専門部活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前例ありきではなく、必要最低限にする方向でお願いすると共に、教員の出席についての必要性を検討してもらい、どうしても参加が必要な場合は輪番制など教員の負担が少なくなる方向で対応してもらおう。</li> <li>・ 文書のやり取りで済むものがないか見直しを図る。会議もできる限り日中開催、コミセン開催をお願いする。</li> <li>・ 休日開催のものについては欠席させてもらおう。</li> </ul>	
D	その他の学校関係の業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員は自分の携帯番号等は保護者に知らせない方向でできないか。知らせる必要がある場合も、最低限の役員等に限るようにし拡散を防ぐ。</li> <li>・ 夜間や休日に保護者が連絡を取りたい場合に対応できるシステムを考える。具体的には、管理職の携帯に専用のメールアドレスを作り、保護者に周知するか、市教委が管理職用携帯を貸与するなど。</li> <li>・ 学級やPTA関連、校務関連の印刷、その他掲示・展示業務などについては、スクールサポートスタッフが配置されるまでは、事務補助の方をお願いする。</li> </ul>	

これはあくまでも試案です。こうする、こうなったという決定事項ではありません。他にご要望はありますか？みなさんからご検討いただき、可能と思われることから実現していきたいと思えます。

## 5年後、10年後を見据えて

たとえば、PTAの活動については、保護者のみなさんがかなりがんばっている学校であると思えます。しかし、200名を超える児童数であるのは来年度までです。その後はどんどん減って、10年後はおそらく150人前後の単学級です。家庭数も100ちょっと…。PTAの組織・運営だって考えなくっちゃいけない。まして、今後は「PTA任意参加」が当たり前になってくるかもしれないのです。保護者だってワーク



ライフバランスを考えなくては、ちゃんとした子育てができない、子どもときちんと関われないと思うのです。つまり、現状維持は絶対に無理です。今のうちから常に、**目のことと少し遠い将来のこと**を考えながら物事を進めていかなければならないと思うのです。



この「教員の働き方改革」の流れは、学校が抱え過ぎていた業務を見直し、本来の業務に集中できるように…というのが本流だと思います。もちろん、先生方の業務内容を見直し時短を図り、ワークライフバランスを担保するというねらいもありますが、おそらくそちらをメインに主張しても、保護者・地域の理解を得にくいと考えた方がいいと思うのです。

さて、もしうまく働き方改革が実現していったとしましょう。そして、本業に集中できるような環境になったら、学校ではどんな教育が展開される、できるようになるのでしょうか。私の勝手な想像ですが、**今の浜田小学校で展開されつつあるクリエイティブな授業づくりに、多くの資源(時間・人・物・予算など)を使えるようになる**と思えます。主体的・対話的な学び合いが毎時間のように展開され、子どもたちが探究的に深く学んでいく…。これまでは(本業・本務でないことが)忙し過ぎてできないと言っていたことに時間や気持ちに向けられるようになると思えます。そんな素敵な学びが日々展開される教育は理想です。そのためにも、まずはこのプロジェクトを今年のうちに少しずつ推進していきます。



6年生は、酒田を紹介するパンフレット作りに取り組んでいます。それをフェイリン先生力を借りて英訳中です！総合や英語や国語などがリンクした探究型の学習です。

